

プロのリスク対応紹介

海建協がセミナー

海外建設協会（海建協連輪賢治会長）は19日、海外建設プロジェクトのリスク対応をテーマにした「18年度第10回ビジネスセミナー」を東京都内で開いた。写真。弁護士やコンサルタ
ント、システム開発者などが講師を務め、国際建設契約のトラブルを解決する事例や、生産資源を有効活用するアプリケーションなどを紹介した。非会員を含む

約60人が参加した。

セミナーは、ハーバート・スミス・フリーヒルズ外国法事務弁護士事務所、世界規模で活動するコンサルタント会社のHKA、予算管理・生産活動・安全衛生などに関するアプリケーションを建設会社などに提供しているYSLソリューション

ョンと共催した。
冒頭、山口悦弘専務理事は「戦略的な海外展開を押し進めるための市場の情報収集と分析、持続的に仕事をを行うための海外人材の確保と育成が不可欠。ニーズに合わせたセミナー、講座を開いており、今回はいろいろなプロフェッショナルによる多面的なリスク対応をテーマにした。より実践的なセミナーができるよう努力したい」とあいさつした。

ハーバート・スミス・フリーヒルズとHKAは、リスク対応が必要な場面で求められるチームの構成や、プロフェッショナルを投入する段階などについて説明した。YSLは、現場管理業務の効率化に役立つモバイルアプリケーション「CheX（チェクロス）」を紹介した。損保ジャパン日本興亜による建設工事保険の事例報告も行われた。

